

西成区長タウンミーティング議事要旨 (成南中学校)

【日時】

平成25年2月14日(木) 午後7時～午後9時

【場所】

成南中学校 多目的室

【臣永区長あいさつ】

今回の企画の趣旨は、区役所から一方的なお知らせをするのではなく、皆様方から色々なご意見をお伺いして、区政に反映させていくことである。私からの説明は簡単にして、積極的にご意見を承りたいと思う。できるだけ多くの方からご意見を承りたいと思うので、基本的にはお一人1回の発言でお願いしたいと思う。

【区役所からの今後の区政方針について説明】

- ・ 西成区の現状を統計数字で説明。
- ・ 平成25年度予算要求
- ・ 平成25年度西成区運営方針(素案)
- ・ 西成区将来ビジョン(素案)
- ・ 西成特区構想
- ・ 行政区のブロックの区割り試案

【参加された皆さまからの主なご意見】

- ・ 住吉市民病院について、区長に説明して欲しいと言っているが説明してくれない。西成はお産する病院がゼロである。統合すれば若い人が入院がこないと思う。病院は絶対に必要だと思う。
- ・ 住吉市民病院をぜひとも残して欲しい。府立病院に合併すると距離的に大分離れているし、府立病院自身も満杯になっている。
- ・ 住吉市民病院については、市長と議会に任せると言いながら、区長は水をかけている。
- ・ 災害問題について、津守を走っている阪神高速道路は軟弱地盤の上につくられている。地震があれば倒壊し危険で交通が遮断される。阪神高速道路に大丈夫かと問いただして欲しい。
- ・ 西成区の予算について、橋下市長が「西成をよくしなければ、大阪、日本はよくなる」と言ったが、これに見合う予算として貧弱と思う。他区との比較と昨年度との比較を簡単に言って欲しい。

- ・ 西成で一番大事なことは少子化対策と思うが区政方針に載っていない。少子化対策をもっと考えていただきたい。若い人が入ってこないと活性化しない。
- ・ 学童保育について、安心して仕事をしながら子育てしていくには学童保育が必要で、補助金もきちんと保障してもらいたい。
- ・ 自己負担が払えず、利用できない子がいる。学童保育のクーポンがあったら助かると思う。
- ・ 学童保育の広報について、学童保育がよく知られていない。学校の中で説明会ができたり、区民センターなどにパンフレットを置けるようにしてほしい。
- ・ 学校選択制の権限は区長にあると聞いている。今宮の小中一貫の件と絡めて、西成区内の小・中学校のあり方をどう考えているのか。
- ・ 中学校の学校給食について、どれぐらいの学校給食の利用があるのか、また、生徒の声をどのように拾い上げているのか。
- ・ 公立幼稚園の民営化について、区内の幼稚園は採算面で経営が難しく民営化しても廃園になると思う。一方、中長期的な計画で子育て世帯を入れていくとなっているが、どう考えているのか。
- ・ 防犯について、警察がPTA会長などの地域情報を持っていない。情報共有できるシステムをつくって欲しい。
- ・ 街灯について、街灯によって明るさの違う割合が激しいので危険と感じる。色を統一してほしい。設置予算が区にあるのか町会にあるのかを聞きたい。
- ・ 公園について、ボール遊び禁止となっている。公園を増やして欲しいと同時に、ボールも使える場所を増やして欲しい。
- ・ 公園の中には、地域で管理が出来ず鍵がかけられている。貴重な公園なので、地域で使えるようにしてほしい。
- ・ 公園にごみが捨てられているなど雰囲気が悪いところがあるので何とかしてほしい。
- ・ 西成特区構想について、市長は、大阪市は解体しないと公約しながら区割り案をだしたり、特区構想をいったりする。余りにも唐突と思う。役所は、一步一步住民と一緒に手を携えることが必要だと思う。
- ・ 北津守のほうには、現実に空き地がたくさんある。その空き地を何とかしてもらわないと、特区構想とか言われても考えられない。役所の現状認識を質問したい。
- ・ 西成特区構想について、大きなことじゃなくて、もっと簡単にできることがあるのではないかと思う。例えば南海電車の高架下の壁にスーパーポンポコジャガビー西成くんを描いたらどうかと思う。
- ・ 観光について、西成の勝間街道などの郷土史的、歴史的な掲示をしていったらどうかと思う。

【区役所からの発言】

- ・ 運営方針や将来ビジョンの中に少子化の話が掲載されていないというご指摘で、現段

階は素案である。いただいたご意見を参考に強化させていきたいと考えている。

- ・ 予算の関係について、25年度は10億ほどの予算要求している。24年度は大体2億から3億ぐらいである。10億の内、5億6,000万ほどは各局で実施する経費で、24年度まで局予算として計上していたが、25年度からは区長が裁量できる部分として区役所へ計上している。残り4億4,000万ほどが、従来から西成区が持っている予算で、2億から3億ぐらいが4億6,000万ぐらいになっている。24区との比較については、まだ予算要求の段階なので比べることはできないが、多い部類に入っていると思う。その他として、特区関係の予算が各局で計上されている。
- ・ 少子化対策については、大阪市全体で取り組んでいかなければならない状況である。特に西成区では子どもの数が減っている状況なので、西成区ですずっと頑張っていただけ環境をつくっていくのが先決だと思っている。取り組みの一例として、24年から教育バウチャーを実施している。
- ・ 阪神高速道路については、平成7年の阪神大震災後、全線の橋脚について緊急橋脚補強作業を行っている。大阪市においては、当時の阪神高速道路公団に対して、出資金、貸付金、補助金の形で財政負担をしている。
- ・ 学童保育の補助金については、全市統一的に考えているので、区役所での対応は難しい。子育てについて、区役所ですることができることを考えていきたい。
- ・ 子育て支援の情報については、広報紙やホームページも含めて進めている。しかし、特定の部分だけを取り出して進めることは難しいと思うので、色々なお役立ち情報として進めていきたい。
- ・ 学校選択制については、西成区の場合は、小中学校施設一体型での統合や、小規模校の統廃合、また、就学制度の緩和といったことを鑑みて、今後、慎重に考えていきたいと思っている。
- ・ 中学校給食について、利用者は3割程度である。評価については、教育委員会のアンケートと、中学校の校長との懇談で聞いている。25年度は、家庭弁当と給食の併用を検討している。26年度以降は、小学校から上がってくる生徒を喫食にしていく方針である。今後、皆様のお声や各学校とも相談して進めてまいりたい。
- ・ 幼稚園の民営化については、現在、大阪市の方針は、民間ですることができることは民間でということになっている。また、市立の幼稚園の園児が全員私立に行っても、なお定員には達していない状況がある。しかし、各幼稚園には地域性や長い歴史があり、支援を要する子どもを民間が受け入れるのかといった議論もある。また一方で、幼保一元化の課題もあるので、今後も慎重に考えていきたい。
- ・ 道路照明灯あるいは街路防犯灯については、設置するのは大阪市建設局である。防犯灯は、設置は大阪市で、維持管理費用、電気代などは町会負担となっている。25年度については、区長の予算も投入して、約50灯分のLEDの防犯灯の予算を西成区で増額している。他区に比べて早いテンポで進めている。道路照明灯の色の統一性については、建設局へ伝えていく。

- ・ 25年度予算で、地域の子どもと子育て世代、それと高齢者、障がい者を含む全ての人が集うことができる公園をつくっていく「だれもが集える公園づくり」の補助金を予算化した。公園の管理については、地域の方々にご協力いただかないといけないので、ご相談しながら進めたいと思っている。
- ・ 地元の資産を使っただけの広報や観光について、一例として、地域の名物を回っていくウォーキングのイベント「天下茶屋にしなりウオーク」を3月20日に開催する。これからも内外の方にPRするようなイベントを実施して、ぜひとも西成のいいところをPRしていきたいと考えている。

【区長からの発言】

- ・ 住吉市民病院については、前回、前々回にもご意見が出ている。そのときもお話したが、説明をしないというのではない。市長からも一番身近な区長から十分な説明をなささい、しかし、決定権は区長にはないとはっきり言われている。私の体験で言うと、医者を確保し、病院をどう維持していくかが切実な問題だ。病院は、今あればいいのではなく、将来にわたって運営していくことが大事だと思う。
市長、議会に任せるわけではなく、現在の大阪市は、区で方針を決めるのではなく、大阪市が議会と議論をして、その方向性の中で運営をしていく状況になっている。
- ・ 災害の問題については、阪神高速道路の橋脚については耐震補強済みと聞いているが、不安があることは関係先へ十分伝えなければならないと思う。危ないであろうということ的前提に議論をするのではなく、専門家がきちんと検証していくべきだと思う。
- ・ 学童保育のクーポン化については、案としては提案していくこともできると思う。権限が区へ委譲されていく中で、少子化対策なり子育て環境を充実させていくことに重点を置くのであれば、選択と集中をさせていくことは必要だと思う。
- ・ 幼稚園の民営化については、区長会で議論をしている。幼稚園や保育所の問題については、一定、公立の良さという点は考えていかなければならないと思う。子どもたちの生き生きとした良い環境をつくるため、いただいたご指摘も踏まえて考えていきたいと思っている。
- ・ 安全・安心の防犯のまちづくりのためには、プライバシーの問題はあるが、区としてもできるだけ消防、警察と連携をとっていかなければならないと思う。
- ・ 公園でのボール遊びについては、限定的に開放していくことはできないかと、区長会からゆとりとみどり振興局へ話をしようと考えている。
- ・ 西成特区構想については、皆さん方の声が届くような仕組みをつくっていきたいということで考えている。勝手に議会や行政が決めるというわけではない。
- ・ 北津守の土地について、何か活用できないかと去年から色々な案を考えている。何か大きなものを引っ張ってこいということも言われるが、この景気の中では簡単にはいかない。引き続き活性化のために様々な案を考えていきたいと思う。
- ・ 南海線の壁にジャガピーを描くといった、難しいことではなく身近でできることから

音頭とりをしていったらどうかということは、全くそのとおりだと思います。子どもと一緒に色々なことができるようなことは考えていきたいとも思う。